

様式第4の二 (第4条、第5条関係)

屋内タンク貯蔵所構造設備明細書

事業の概要		ホテル業					
タンク専用の構造	壁	延焼のおそれのある外壁	鉄筋コンクリート造		床	鉄筋コンクリート造	
		その他の壁	鉄筋コンクリート造		出入口	防火戸(自閉式) (しきい高さ 25 cm)	
	屋根	鉄筋コンクリート造		その他			
建築物の一部にタンク専用室を設ける場合の建築物の構造		階数	10/2	設置階	B2	建築面積	2,000 m <sup>2</sup>
		建築物の構造概要		鉄筋コンクリート造			
タンクの構造、設備	形状	角型			常圧・加圧(kPa)		
	寸法	縦2,000mm 横3,000mm 高さ2500mm			容量	15,000ℓ	
	材質、板厚	SS400 9mm					
	通気管	種別		数	内径又は作動圧		
		無弁通気管		1	50 mm kPa		
	安全装置	種別		数	作動圧		
なし		—	— kPa				
液量表示装置	フロート式			引火防止装置	有・無		
注入口の位置	遠方注油口			注入口付近の接地電極	有・無		
ポンプ設備の概要	ギヤーポンプ×1						
採光、照明設備	耐圧防爆型白熱灯100w×1		換気、排出の設備	ベンチレーター×1			
配管	鋼管(STPG)						
消火設備	第4種 粉末消火器×1 第5種 粉末消火器×2			警報設備	自動火災報知設備		
工事請負者住所氏名	〇〇市〇〇町〇〇番地 泉州南工業株式会社 代表取締役 〇〇〇〇 電話 072-485-0119						

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。  
 2 建築物の一部にタンク専用室を設ける場合の建築物の構造の欄は、該当する場合のみ記入すること。

様式第4の二 (第4条、第5条関係)

屋内タンク貯蔵所構造設備明細書  
(20号タンク)

事業の概要		_____				
タンクの構造 専用造	壁	延焼のおそれのある外壁	_____		床	_____
		その他の壁	_____		出入口	(しきい高さ _____ cm)
	屋根	_____		その他	_____	
建築物の一部にタンク専用室を設ける場合の建築物の構造	階数	_____	設置階	_____	建築面積	_____ m <sup>2</sup>
	建築物の構造概要		_____			
タンクの構造、設備	形状	縦置円筒型			常圧・加圧( _____ kPa)	
	寸法	内径 900 mm	胴長 1,700 mm	鏡打出し 175mm	容量	1,230ℓ
	材質、板厚	材質 SUS304 板厚 銅板 6.0 mm 屋根板 6.0 mm 鏡板 6.0 mm				
	通気管	種別		数	内径又は作動圧	
		無弁通気管		1	50 mm kPa	
	安全装置	種別		数	作動圧	
_____		_____	_____ kPa			
液量表示装置	差圧液面計			引火防止装置	有・無	
注入口の位置	_____			注入口付近の接地電極	有・無	
ポンプ設備の概要		_____				
採光、照明設備		_____	換気、排出の設備		_____	
配管		_____				
消火設備		_____	警報設備		_____	
工事請負者 住所氏名		_____				
		電話 _____				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とすること。  
2 建築物の一部にタンク専用室を設ける場合の建築物の構造の欄は、該当する場合のみ記入すること。

## 屋内タンク貯蔵所（屋内の20号タンクを含む）の構造設備明細書記載事項

- ① 「事業の概要」の欄は、事業の内容について具体的に記入すること。
- ② 「タンク専用室の構造」の欄のうち、「その他」の欄は、タンク専用室の建築面積を記入すること。
- ③ 「建築物の一部にタンク専用室を設ける場合の建築物の構造」の欄は、次により記入すること。
  - ア 建築物全体が屋内タンク貯蔵所になる場合は、記入しない。
  - イ 建築物の一部に設置する場合は、建物全体についての建物構造を記入する。
- ④ 「形状」の欄は、タンクの形状を「角型」、「縦置円筒型」等と記入すること。
- ⑤ 「常圧・加圧」の欄は、該当する形態を記入すること。
- ⑥ 「寸法」の欄は、当該タンクの寸法を「縦〇〇mm、横〇〇mm、高さ〇〇mm」等と記入すること。
- ⑦ 「容量」の欄は、「実容量〇〇リットル、空間容積〇〇リットル（〇〇%）、容量〇〇リットル」等と記入すること。
- ⑧ 「材質、板厚」の欄は、タンクの材質及び板厚を「底板〇〇mm、側板〇〇mm、屋根板〇〇mm」等と記入すること。材質が部材により異なる場合は、「底板（SS400）8mm」等とすること。
- ⑨ 「通気管」の欄は、通気管の種別、数、内径又は作動圧を記入すること。
- ⑩ 「安全装置」の欄は、安全装置の種別、数、作動圧について記入すること。

（例）引火防止網付大気弁1基〇〇KPa
- ⑪ 「液量表示装置」の欄は、覚知装置を「自動式液面計」等と記入すること。
- ⑫ 「引火防止装置」の欄は、有・無に〇をつけること。
- ⑬ 「注油口の位置」の欄は、注油口の位置について記入すること。

（例）「遠方注入口」（別添図面の位置）、「タンク直上」等と記入する。
- ⑭ 「注入口付近の接地電極」の欄は、「有」・「無」に〇をつけること。
- ⑮ 「ポンプ設備の概要」の欄は、ポンプ設備の種別（うず巻きポンプ、ギアポンプ等）、数、固定方法、設置位置について記入すること。
- ⑯ 「採光、照明設備」の欄は、種別（窓、照明）、防爆構造の種別、数を記入すること。
- ⑰ 「換気、排出の設備」の欄は、換気又は排出の別、素材、個数、引火防止網の有無等を記入すること。
- ⑱ 「配管」の欄は、使用する配管の材質、口径、継手方法、外面防食方法を記入すること。
- ⑲ 「消火設備」の欄は、例えば「第3種二酸化炭素消火設備（全域）」、「第5種（粉末ABC消火器3.5kg）×3本」等と記入すること。
- ⑳ 「警報設備」の欄は、危険物の規制に関する規則第37条で規定する区分のうち、設置したものを記入すること。
- ㉑ 「工事請負者住所氏名」の欄は、工事を請け負う法人の名称及び住所並びに工事責任者の氏名、電話番号を記入すること。